

8

日本バプテスト連盟ホームレス支援特別委員会
ニュースレター

われら宇宙人

高市和久(市川八幡教会)

4月から市川八幡キリスト教会の牧師となり、市川ガンバの会の活動に参加させていただいている。スタッフやボランティアのあとをついてパトロールをしたり、教会に相談に来た人をガンバ事務所に引き取り次ぐ程度でしかないが、いろいろなことを学んでいる。

しつこい襲撃に悩まされている人の訴えをパトロールのたびに聞いた。ある時などラグビーボール大のアスファルトの固まりを見せられた。それでも警察に訴えることをためらう。そんなところに寝るのが悪いと言われるのが落ち、まともな捜査などするはずがないとあきらめる。そのくやしさをだれが知ろう。

ある学校に襲撃をしないように指導してほしいと申し入れに行ったスタッフが、校長に「趣旨はわかったが、学校としてはホームレスになってもいいと教えるわけにもいかないのです」と言われたことも聞いた。聞いた当座はあんまりとんちんかんでことばを失った。3日たって、「宇宙人と話してるみたいだね」と言うのがやっとであった。さらに3日考え続けた。ホームレスになっていいと教わったからホームレスになったのか。ホームレスになるなど言われればならなかったか。むしろ人をホームレスにするなど教えようとは考えないのか。そう、この先生はホームレス状態を「自己責任」にしたのである。ホームレスになったやつが悪いのだ。その人をホームレスにしたやつは悪くないのだ。私はやっと違和感の正体をつかまえた気がした。

しかし、近ごろは私の方が宇宙人なのではないかと感じるが多い。例えば某党の総裁選挙である。「党は存亡の危機にある」と叫ぶ候補はいた。しかし「ホー

ムレスは生死の危機にある」とはだれ一人言わなかった。わたしはそう考え、すぐに、でもこの二つの命題を並べること自体、今の日本人には奇妙に感じられるのだろうかと思わないではいられなかった。政党が一つなくなっただけで、議員は新党を作るか他党にくら替えするだけの話である。だが人が死んだら取り返しはつかない。それでも政党が大事か。いつか私は「この星は……」とつぶやきながら缶コーヒーを握りしめていた。

立候補の記者会見で一人だけ「リストラ、低賃金」に触れた候補者がいた。だが、「国民はリストラ、低賃金の厳しい中で額に汗してがんばっている」という表現は何を意味するのか。またしても正体不明の違和感、考えること3日。リストラ、低賃金の中で「もうがんばれない」と言って世を去って行く人が年間3万になんなんとしているのである。その現実を前にして「よくがんばってるねえ」と言っていられる神経。しかしこのチャンスに対立候補が揚げ足を取るでもなく、野党が批判するでもない。いよいよ私一人がおかしいのだと思いつめた。

そんなとき浮かんだ一つの聖句 私たちの本国は天にあります(フィリピ3:20)。そうだ、宇宙人は宇宙人らしくすればよいのだ。心にさわやかな風が吹いた。



「美野島めぐみの家」の炊き出しを見学して

対田澄子（相模中央キリスト教会）

前日、奥田知志牧師より、「カトリックの家の中での炊き出し見学を楽しみに」と言われ、内心すごく期待を持ちました。私の知っている炊き出しといえば、阪神大震災の時の水笠公園、横浜寿町児童公園といずれも公園の炊き出しで、家の中での炊き出しとはどのようなものかに関心がありました。

当日、私たち8名は、11時すぎ到着し、香住が丘みぎわ伝道所の瀬戸さんが出迎えて下さいました。

まず、福岡おにぎりの会に案内され、衣類バンクのことや、毎月第1金曜日におにぎり500食ほど作り、都心、市街地をまわっていることなどの説明を受けました。野宿者の中には、夫婦で子連れ、障害者の方もいるそうです。また、ホームレスの方を自立支援する「住まいの会」の部屋もありました。

いよいよ、めぐみの家(カトリック司牧センター)の中に入ると、礼拝堂の中は、テーブルと椅子(73個)が並べられており、水色の壁、大きな窓と、まるでサロンの様。1時スタートの前に、私たちはボランティアの方達と共に、食事を頂きました。まあ、なんておいしい食事でしょう！炊き込みご飯、山盛りのポテトサラダ、きゅうりの酢の物、そして、アサリの貝汁、私には多い量でしたが、玉葱のたくさんはいったポテトサラダが特においしくて、家庭的な味がしました。テーブルの上には、コーヒー、麦茶のはいったポット、かごにフランスパンが置かれています。

私は、お手伝いといっても、配膳して、お箸を配り、空いている席を案内するくらいしかできませんでしたが、皆様が食卓について召し上がる姿を見て、イエス様が共に食事をを下さっているんだなと感じました。3回入れ替わりがあり、この日の参加者は、184名でした。1番最後に入って来られたおじさんが、周りを見回し、もう食べている方がいないのを見て、「俺が最後かー！」とつぶやき、ややあせった様子。「大丈夫ですよ。ゆっくり召し上がってくださいね」とお茶を入れて声をかけ、ゆっくりと召し上がって頂きました。

ホームレスのおじさんたちは礼儀正しく、衣類を選んだ後、食器を運び、ごちそう様と言って帰られます。



礼拝堂の中に並べられた食卓に料理が並び、

帰りがけに、薬、洗剤などもらっている方もいて、この日は、りんごとバナナも配られていました。量が多くて全部召し上がれない方には、おにぎりにして持帰ってもらっていました。お一人お一人を、大切にされているなあと思いました。

テーブルをたたみ、モップがけや、椅子を並べた後、マルセル神父と瀬戸さんと談話の場を持ちました。現在この会堂は、ペルーの方々のミサに使われているそうです。マルセル神父は、谷本牧師や、奥田牧師に、20年前ぐらい前、北九州の「政治と平和グループ」で炊き出しを始めた頃、「あの頃は、楽しかったですね」と懐かしんでおられました。

瀬戸さんのお話ですと、この日の食材は、きゅうりとお肉以外は全部寄付。特に、昨年8月よりグリーンコープから、毎週、じゃが芋20kg、玉葱20kg、人参10kg、バナナ、りんご等の支援があるそうです。また、当初のパンの耳とコーヒーだけで始めた時のほうが、ホームレスの方とゆっくり話しができ、現在の約2時間余で3回入れ替わりではあまり時間が取れないことを残念がっておられました。40%の方が、ここでしかお米を食べていないそうです。又、薄味で、なるべく家庭的な味付けにしているそうです。

それにしても、毎週火曜日、200食近い食事を平均24人のボランティアの皆様で実施されていることに感心致しました。お手伝いの方の中には82歳の女性の方もおられました。

仕事がなかったり、何らかの事情で、野宿生活をしいられている方たちにとって、この「美野島めぐみの家」が癒しの場所となっていることを痛感致しました。

この炊き出しを見学して、多くのことを教えていただきました。本当に、キリストの香りのする炊き出しでした。参加させていただいたこと心から感謝いたします。



毎週、200名を超える食事を準備される支援者の方々の献品と多くはグリーンコープからの食材と



マルセル神父

ホームレス支援特別委員会 フィールドワークのご案内

In 山谷



実態は恐慌であるところの金融危機が起こり、世界的に契約社員、日雇い労働者が職を失い、またそれに伴い家を失う状況を私たちは目の当たりにしています。この現実の中で、教会は、信仰者は、何を見聞きし、何を祈り、何をしたらいいのでしょうか。今回は、東京の山谷における取り組みに触れ、その事柄を聖書と対話させつつ、キリスト者としての倫理を学べたらと願います。ご参加を心よりお待ちしております。

日程：2009年2月23日(月)~25日(水)

場所：市川八幡キリスト教会および山谷

宿泊：市川八幡教会

費用：全日程参加 5,000円

部分参加 セッションひとつにつき1,000円

* 遠方の方には、交通費補助があります。

【プログラム】

23日(月)

15時 開会礼拝

説教者：高市和久牧師(市川八幡教会)

16時 セッション1

「聖書研究」

発表者：野口哲哉牧師(岐阜教会)

梶井義郎牧師(高松常磐町教会)

19時 セッション2

「全国交流会」

24日(火)

(新卒牧師研修会参加者も合流)

9時半 セッション3

「山谷フィールドワーク」

11時 セッション4

「講演会」

講師：水田恵氏(ふるさとの会世話人)

12時 昼食(山谷にて)

13時 セッション5

「シンポジウム」

(山谷で部屋を借りています)

コーディネーター 濱野宣教研究所所長

パネラー

ホームレス問題の主要テーマ

麦野達一牧師(伊集院教会)

福音における場所性についての一考察

奥田知志牧師(東八幡教会)

自立と責任についての一考察

大谷心基牧師(京都教会)

15時 全体討論

17時 夕食

25日(水)

9時 拡大委員会

11時半 閉会礼拝

説教者：谷本仰牧師(南小倉教会)

12時 解散

【問い合わせ先】

大谷心基(日本バプテスト京都教会)

電話 075(231)1351

ファックス 075(231)4327

メール shinki@d3.dion.ne.jp

* 別紙申込書にてお申込ください。

ホームレス支援教会一覧

当委員会が把握しているホームレス支援を定期的に行っている地区と教会、支援者が所属している教会は以下の通りです。活動の問い合わせ教会のみ電話番号を記しました。当委員会が把握できていない情報、「ここでもやっているよ」「うちでもやっているのだから載せてほしい」という情報がありましたら、ぜひ、連盟事務所気付、ホームレス委員会あてご一報くだされば幸いです。尚、ここに記していない教会・伝道所以外にも、献金や物資献品などを通して支援活動をささえてくださっている教会・伝道所が多くあります。皆様の関心とお祈りを感謝いたします。

【市川地区】

日本バプテスト連盟市川八幡教会
047-332-5197

日本バプテスト連盟市川大野教会
日本バプテスト浦和キリスト教会

【藤沢地区】

藤沢バプテスト教会

【平塚地区】

平塚バプテスト教会
0463-33-2320

【相模地区】

日本バプテスト相模中央キリスト教会
046-274-3708

【岐阜地区】

岐阜バプテスト教会
058-265-0881

【京都地区】

日本バプテスト京都教会
075-231-1351

【平野地区】

平野バプテスト教会
06-6708-5852
日本バプテスト連盟シオンの丘教会

【兵庫地区】

日本バプテスト連盟浜甲子園教会
0798-41-5300
神戸バプテスト教会
神戸西バプテスト教会
神戸伊川キリスト教会

【香川地区】

日本バプテスト連盟恵キリスト教会
087-861-0523

【北九州地区】

日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会
093-651-6669

日本バプテスト小倉キリスト教会
南小倉バプテスト教会

日本バプテストシオン山教会
若松バプテスト教会

日本バプテスト枝光キリスト教会

【福岡地区】

日本バプテスト福岡基督教会
092-741-6256

福岡西部バプテスト教会
バプテスト東福岡教会

平尾バプテスト教会

長住バプテスト教会

日本バプテスト連盟宇美キリスト教会

【久留米地区】

日本バプテスト連盟久留米荒木教会
0942-27-0116

日本バプテスト連盟久留米教会

【沖縄地区】

日本バプテスト連盟那覇新都心教会伝道所
098-942-4775

もうお読みになりましたか？

「ホームレス支援に関するシンポジウム報告書2003年」(2003年9月発行)

「ホームレス支援に関するシンポジウム報告集2005年」(2005年6月発行)

残部僅少です。お入用の方は、連盟事務所内ホームレス支援特別委員会、または上記の支援教会にお問合せください。

一冊500円のカンパをお願いしています。



発行：さいたま市南区南浦和1-2-4 日本バプテスト連盟内 ホームレス支援特別委員会 委員長 大谷心基